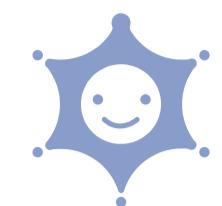


里親として里子たちと味わう家族団欒の日々や、  
教会長や保護司・教誨師などさまざまな立場から  
出会う人との関わりのなかで紡ぎ出された  
“宝物の言葉”が詰まつたエッセー集。



道友社  
きずな新書  
015

## 好評発売中!!

(3月1日発売)

里子たちに限らず、人と人とのつながりは、みんな不思議な縁で結ばれていることに気づきます。……わが家（教会）に来てくださる人たちを「おかえり」と言つて迎えるようになり、多くの皆さんが「ただいま」と言つて玄関を入つてくれるようになりました。（本文から）

前作『家族日和』から8年  
正夫の巣立ち、将太との再会、  
そして次の世代へ…

里子たちや不思議な縁につながる人たちを  
「おかえりなさい」と迎える教会家族の物語



定価 990円 (本体900円)

新書判並製 / 208ページ

◎読書会の皆様へ……本書は定期配本です。



しらくま・しげかず

昭和32年(1957年)、東京都生まれ。56年、ブラジル・サンパウロに設立された「天龍日語学園」の第1期講師として夫婦で3年間勤務。平成10年(1998年)、天理教中千住分教会長就任(2022年まで)。15年、里親認定・登録。19年、東京保護観察所保護司を委嘱。21年、専門里親認定・登録。29年、教誨師委嘱。著書に『家族を紡いで』『家族日和』『おやさまの灯り』『続おやさまの灯り』『おやさまの温もり』(いずれも道友社)がある。

※お求めは道友社おやさと書店、東京支社、通販(電話、Fax、Webストア)で。

